

実施要項

- 1 目的 日本将来を担う少年たちがサッカーを通して心身を鍛える中で、技能と体力を向上させるとともに、健康でたくましい児童を育成する。
- 2 主催 (公財)日本サッカー協会
- 3 主管 (公社)群馬県サッカー協会、群馬県少年サッカー連盟
- 4 協賛 全国労働者共済生活協同組合連合会
- 5 期日 **開会式 平成28年2月28日(日)11時開始**
前期 平成28年4月5月6月 後期 平成28年7月9月10月
- 6 会場 **開会式会場: 正田醤油スタジアム群馬、試合会場: 県内各所**
- 7 参加資格 (1) 大会実施年度に第4種に加盟登録したチームであること。
(2) 上記チームの構成は単一チームに限られ、年間を通じて継続的に活動していること。
(3) 上記チームに所属し、日本サッカー協会発行の登録選手証を有するもの。
(4) 一旦提出されたメンバー表は、変更、加筆や削除等出来ない。ただし、メンバー表を再提出することが出来る期間がある。(後日、提示する)
① 大会前期期間中に、選手が異なるチームへ移籍後、再び同一大会に参加する場合は、メンバー表を再提出後となる。
(5) 無登録の新規メンバーは随時追加することが出来る。ただし、選手のエントリー数は○
○人までとする。(人数について協議中)
(6) 同一チーム内から複数チームをエントリーする場合は、エントリーチーム内に8名以上の6年生が登録されていること。
(7) 継続して4種リーグに参加するチームにおいては、前年度の指導者講習会に参加していること。ただし、4種リーグに新規参加チームはその限りでない。また、指導者講習会参加を義務とする。
(8) 全日本少年サッカー大会に参加する場合のメンバー表は、4種リーグ後期前に提出されたメンバー表とする。ただし、4種リーグに2チーム参加し全日本大会は1チームで参加する場合は、4種リーグに登録した2チームのメンバー内で再登録すること。
(この8項について協議中)
- 8 参加条件 参加者はスポーツ傷害保険に加入された3年生以上の選手とすること。
- 9 チーム編成 監督1名、コーチ2名、選手8名以上○○名以内(人数について協議中)
- 10 競技規則 (1) 日本サッカー協会8人制サッカールールに準ずる。ボールは4号を使用する。
(2) 選手交代は、登録された選手の自由な交代を適用する。交代用紙の提出なし。
(3) 試合開始の1時間前までに、選手証のチェックを本部にて行う。1日1回行う。
試合毎に行う必要はない。
(4) 競技者が退場を命じられた場合は、交代要員から補充出来る。
本大会において退場を命じられた競技者は、本大会の次の1試合に出場出来ず、それ以降の処置については規律委員会で決定する。
警告を2回受けた競技者は退場、累積2回で次の1試合出場出来ない。
4種リーグのカードは全日本少年サッカー大会に持ち越さない。
ただし、規律委員会の決定は持ち越す。
(5) 問題が生じた時は役員会にて競技決定する。
- 11 競技のフィールド フィールドの長さは68m。幅50mを標準とする。

12 競技者の数

- (1)1チーム8人の競技者によって行われる。
- (2)本大会においては、開始時に8人に満たない場合は試合を棄権とする。
- (3)試合中に怪我等による人数不足により8名に満たなくなった場合には、そのまま継続する。
ただし、6人に満たなくなった場合は、試合を棄権とする。

13 競技方法 リーグ戦 1部(10チーム×2ブロック)・2部(11チーム×4ブロック)・ 3部(9~11チーム×10~12ブロック)に分け前後期制とする。 なお、3部は東毛・南西毛・北中毛の3地区に分けて行う。

- (1)リーグは、勝ち点(勝3、分1、負0)・得失点差・総得点・相対・ブロック内の若番順・
ブロック間の若番順(1部後期除く)で順位を決める。
予選リーグの順位にて決勝トーナメントを行う。
- (2)試合時間は40分とし、ハーフタイムのインターバルは5分とする。
- (3)何らかの事情で試合を棄権した場合等は対戦成績を0-5として相手チームに勝点3を
与える。

14 審判 1人制にて行うまたは1人の主審と2人の副審と第4の審判にて行う。

- 審判員は試合前に本部にて審判員証を提示すること。
ただし、予備審については臨機応変に対応すること。
審判員証は顔写真入りで提示をすること。
運転免許証等と照らし合わせは認められない。
写真の貼っていない場合は無効とし、審判活動は如何なる理由があっても一切認められな
い。審判服の色は黒色とする。

15 参加費 20,000円(各地区担当者へ納める)(群馬県少年サッカー連盟加盟チームが対象) なお、群馬県少年サッカー連盟未加入のチームは群馬県少年サッカー連盟役員会にて 参加費の額を決定する。

16 組合せ (1)前期

- ①1部:モスバーガー杯のベスト16およびベスト32より4チームの20チームが2ブロック
に分かれて行う。
- ②2部:ベスト32から上記のチームを除いた12チームおよびベスト64からベスト32を
除いた32チーム、総数44チームを4ブロックに分けて行う。
- ③3部:上記以外のチームを3地区にし、11ブロックに分けて行う。

(2)後期

- ①1部:前期1部各ブロック上位5チームと1部6位の2チーム+2部各ブロック上位2チーム
にて行う。
- ②2部:前期1部各ブロック下位4チーム+2部各ブロック上位3位から8位または9位+
3部各ブロック上位1チームを4ブロックに分けて行う。
- ③3部:前期2部下位11チームと3部2位以下を複数ブロックに分けて行う。

17 申込方法 参加申込先(メンバー表提出含む):各地区担当者(少年連盟加盟チーム) 少年連盟非加盟チーム:少年連盟総務部長(田島)tajima1960@ybb.ne.jp ※1部2部の組合せは抽選会で決定する。開催予定日:3月12日(土) 3部の組合せは地区委員会で決定する。

※参加申込期間 平成28年2月8日~2月21日

※メンバー表の提出 平成28年4月1日~7日

18 その他 ①4種リーグに参加しないチームは全日本少年サッカー大会への参加を認めない。

- ②全日本少年サッカー大会の組合せは、4種リーグの結果を反映する。